

経済産業省は10月10日、「第6回ロボット大賞」を発表した。将来の市場創出への貢献度や期待度が高いロボットを表彰するもので、サービス部門の優秀賞に、TOTO(株)が開発した排せつ支援ロボット「ベッドサイド水洗トイレ」が選ばれた。

同トイレは、各種ロボット技術を活用して汚物を

粉碎・圧送することで従来よりも細い配水管で流すことができるシステム。設置場所の自由度が高く、要介護者の生活の質の向上に貢献することが評価された。

(福祉新聞・第2689号 2014年10月20日)